

商 況

販賣旬報 第182號 昭和6年12月11日
製鐵所販賣部

2、3月積先物協議會—2圓下げ

月日場所 12月4日製鐵所東京出張所 出席者 製鐵四社、東西問屋、主なる議事 2、3月積先物賣出の件先づ希望條件に就き次の回答あり。

1、の中丸鑄付に就ては例の積留鋼材を一般在庫に繰り入れたる關係上今迄若干鑄付きの物もありたるも最早殆んど在庫無くなりたるを以て將來は斯る事無き故左様承知ありたし。

2、3月積先物協議會

品 種	區 分	入電	沖着	河岸着	値段	希望	決定	備 考
				(爲替49-3/8)				
角鋼	ベース	\$	17.20	¥	54.50	54	55	2圓下げ
平鋼	(本所分野)		17.20		54.50	54	55	"
大型	山形鋼		17.10		54.29	54	55	"
工形	鋼		17.30		54.70	54	55	"
溝形	鋼(吋寸法)		20.30		60.67	60	60	"
"	(耗寸法)		17.30		54.70	54	55	"
丸鋼	ベース		17.30		54.69			
"	9mm		18.25		56.58			
中小型	山形鋼		17.50		55.09			
鋼板	6mm以上		20.35		60.77			
"	4.5mm		20.35		60.77			
"	3.2mm		20.35		60.77			
"	2.3mm		23.00		71.05			
"	1.6mm		24.80		74.64			
線材	B.W.G.No.5		23.50		64.20			
黒薄	鋼板	£	10-13-6		109.27			
鉄力	板		170lbs		1-8-3			
"			100lbs		0-15-8			
					2/10-0			

2、及3のクレームの立會及解決に就ては1週間と云ふ期日を切らるゝ事は事務の都合上困難なる場合もあるを以て將來遲滯なく取計ふと云ふことに承知せられたし

次に2、3月渡先物値段の協議に入る、先月より懸案であつたチャージは本月は1圓90錢と云ふことに決定しC、I、F値段も次の如く先月より1弗以上の値下げを見て當然値下げの已むを得ざるに至つた、然し其値下げの程度は買手側も在庫の寡多により値下げの希望程度も異なるも一擧に下げる事も一考を要する故本月は2圓下げに留むべしとの兩者の意見の一致を見て前月に比し2圓下げと決定した。

希望條件 1、最近鑄付品の積出さるゝもの多し殊に中丸に於て甚し今後絶対にかゝる事なき様御注意願度

2、クレーム立會は申出後一週間以内に願度

3、解決も立會後一週間以内に願度

1、2月積鉄力板協議會 久しく賣出が中止になつて居た。鉄力板が愈々新春の1月積より賣出される事になつた。何し昭和6年度の鉄力板界は不二山から石塊を投げる様にひた走りに下る一方であつたが願はくは、7年度こそ、少なくとも内地生産業として獨立し得る様な値段に復してくれる事を祈るものであるが、先月協議會にて一言した様に、爲替の下落した丈値段(單價)が高くなれば事が見て、彼等が再禁止に依つて豫め期待して居たらしい賃銀の引下げをも實現し得た事になり、前途は益々暗たんたるものとも云ふべきであらう。然し兎に角次記の通り、1、2月積が賣出されて目出度い事だ。

1、數量は發表せず希望丈引受けの事

1、値段 100封度 1函に付 金6圓50錢也
170封度 " 金11圓也

1、其他の條件は従前通り

1、外注値段(トウマス物) (3/4-3/4)

100封度 0-15-3 6'11、170封度 1-6-3 10'50

1、2月積先物賣行—4,000噸臺 別表申込數量が約3,600噸で、引受けが約4,400噸とは一寸不思議であるが。引受けの方は追加があつた爲めで、申込は單に各地の趨勢を知る爲め掲げたものである、12、1月積は旬報にも斷つてある通り特殊の實需手當があつたので7,000噸と云ふ特異の數字を現はしたので、4,000噸と云ふ此數量こそ常態の申込と見るのが至當ではあるまいか。

先月は定期が切れて角が初めて顔を出したが今月からは平も姿を現はして來たのが珍しい感がある。

1、2月積先物申込數量

品名	區別	東京	大阪	名古屋	其他	計
角鋼	鋼	—	200	2	4	206
平鋼	鋼	—	191	—	19	210
山形	鋼	132	1,376	—	—	1,508
溝形	鋼	318	1,249	25	5	1,597
工形	鋼	65	—	—	—	65
計		515	3,016	27	28	3,586

1、2月積先物引受數量

品 種	區別	1,2小	1中	2中	1大	2,3大	4型	計
角鋼	鋼	195	11	—	—	—	—	206
平鋼	鋼	—	222	—	—	—	—	230
等山	形	—	—	—	—	745	—	775
不溝	形	—	181	90	30	373	—	674
工形	鋼	—	341	—	845	395	—	1,581
		—	—	—	—	890	82	972
計		203	755	90	875	2,403	82	4,408

参考の爲め 12、1 月積の工場別引受數量を掲げると次の通りである。

品 種	工場別	中形	1 大	2,3 大	4 型	計
		角	鋼	30	—	—
等	山	—	—	1,211	—	1,211
不	山	375	—	1,343	—	1,718
溝	形	246	725	954	49	1,974
工	形	—	—	1,761	75	1,836
	計	651	725	5,269	124	6,769

矢板會 三井、三菱、安宅の 3 社から成る當所の鋼矢板に関する「矢板會」が出来てかの半歳以上になるので其間の色々の消息を交す爲めに去る 30 日當所東京出張所で東西の當事者と會合した。

當所の鋼矢板は本年 4 月に於て呱呱の聲を擧げて以來未だ僅に 10 箇月に満たないが次の如く已に 1 萬 5,000 噸に近き引合ひを見て外注防遏の効果を揚げて居る。

製鐵所鋼矢板引合 (自 6 月至 11 月)

I 型 2,563 噸 II 型 5,814 噸 III 型 2,018 噸

IV 型 3,091 噸 V 型 — 計 13,486 噸

猶今迄は創成間もなき事故荷捌きに遺憾の點があつたが、工場の準備も整いつゝあるを以て將來は圓滑なる荷渡しを爲し得ることと思はれる。

12、1 月積線材の締切一激減 28 日締切つた 12、1 月積線材の申込成績は次表の通り遂に 2,000 噸臺に墜落するに至つた。月を重ねる毎に減少の新記録の連続で、特に本月の激減振りは甚だしいものである。原因としては前月羅列した、好調、輸入の反動と製品の支那輸出杜絶にある様であるが、前途の不安の濃厚な事も此激減を誘ふた主要な原因として數ふことが出来よう。

猶申込通り全部引受と決定した。

昭和 6 年 12、1 月積線材申込數量調

内 譯	神戸製鋼				製鐵所				計					
	東京	大阪	名古屋	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計
三井	—	30	—	30	245	—	65	—	310	245	30	65	—	340
三菱	—	50	—	50	180	—	65	—	245	180	50	65	—	295
岩井	—	400	—	400	320	110	—	—	430	320	510	—	—	830
安宅	—	195	—	195	120	80	—	—	200	120	275	—	—	395
日商	—	460	—	460	85	—	—	—	85	85	460	—	—	545
計	—	1,135	—	1,135	950	190	190	—	1,270	950	1,325	130	—	2,405

黑板共販理事會—12 月積締切り 日時 昭和 6 年 12 月 28 日 場所 大阪中央電氣俱樂部 出席者 川崎、製鐵、德山、中山及日鋼、其他 4 社代表者

議事 12 月積黑板申込締切 あらゆる悪材料山積し所謂斯界混沌として其歸趨を知らざる 現状なるを以て本月の成績は一般の頗る注目せし處なりしが其結果は次表の通り薄物 6,677 噸、厚物 2,384 噸、計 9,061 噸の申

込にして是れを前月に比すれば薄物約 1 割を増し厚物は一舉 5 割強方の激減振りを示せり、就中本所賣りの 10 枚物の如きは季節外れとは謂へ申込皆無なりしは從來餘り其例を觀ざる所である。

本月も組合に於て協議の結果申込數量を全部引受くる事に決定した。

(イ) 薄物部		(ロ) 厚物部	
内地向	製造者別	川 崎	川 崎
	申込數量	製 鐵	製 鐵
川 崎	3,123	日 鋼	1,142
製 鐵	980	山 鋼	—
中 德	1,700	計	1,002
日 鋼	804		240
計	70		
	6,677		2,384

輸出向の 12 月積は賣出なし

中板共販理事會—賣出し見合せ 日時 12 月 7 日 場所 製鐵所東京出張所 出席者 製鐵、東海及 4 社側代表者 議事 1、2 月積先物賣出に付て

4 社側より現在の外注値段は次記の通り前月に比して著しく低落して居り一方市場の趨勢は 値段不振のためには一向減少の模様なく且つ年末を控へたる 此際外注に追隨して賣出を發表せらるゝも其成績は 期待すること困難なる情勢につき出来得るならば本月は 發表を見合はされ度しとの要望ありたり。

以上買入側の提案に對し組合側にて協議の結果其の希望を容れ 本月の先物は發表を見合はずことに決定せり。但し臨時の需要に對しては 其都度隨時引合に應ずることとせり。 外注値段次の如し。

品 種	Plate 45mm	32mm	23mm	26mm	Exrate
Jan/Feb. Shipment	C.I.F. \$ 20	20.35	23	24.80	\$ 49%
換算	¥ 60.07	60.78	71.04	74.64	Chargos ¥ 1.90

小型山形鋼共販理事會 日時 12 月 8 日 場所 製鐵所東京出張所 出席者 製鐵所、釜石及三井物産代表者 議事 1、2 月積先物賣出しの件 積遅れ品緩和のため久しく据置を維持せられた小型山形の賣値も茲 1 箇月を出でずして積遅れを一掃し得ることとなれると共に外注値段は次の通り漸落せるを以て 其の内輸入の可能性ある 5×30 mm 以上のものは是れに追隨して 4 圓下げと

し他の細物は市價も相當強調にして又輸入性にも乏しき關係上前月對外注値下轄を顧慮に入れ各 2 圓下げとし申込締切りを來る 15 日として賣出すことに決定せり。尙 5×30mm の從來の建値は 3×25mm 乃至 3×40mm と同値に發表せられたるも此寸法は注文到つて少量のため本月より最低建値品中へ加へ注文の獲得に努むることとせり

決定値段	20mm	25	30	35	40(3mm)	30(5mm)	40(5mm)	45
	67 圓		63 圓			55 圓		
	2 圓下げ		2 圓下げ			4 圓下げ		

猶外注値段次の通り

mm mm	3×20	3×25	3×30	3×40	5×30	5×40	4×45	6×45
cif. \$	19.60	18.90	18.60	18.60	18.60	17.95	17.50	17.50
河岸渡	59.27	57.87	57.28	57.28	57.28	55.98	55.08	55.08
49-3/8								

小型山形共販 12、1 月積締切—復々減少 11 月 18 日締切の 12、1 月積小型山形鋼申込成績次の通り

東京	大阪	名古屋	門司	其他	計
120	160	70	16	—	366

當所の積遅れの整理が緒に就いた事や、若干の外注品の入荷や、それよりも猶今日の四圍の狀勢が甚だしく買氣を鎮磨して 12 月積は只の 366 噸となつた。

中型山形共販協議會—1、2 月積賣出し 月日場所 12 月 9 日製鐵所東京出張所 出席者 日本鋼管、東海、製鐵、及定期團 主なる議事 1、2 月積賣出しの件

1、賣出値段 現在の内地市場は品薄により相當強調を傳へらるゝ目先緩和の見込みもあり 傍々別項の如く外注値段は益々軟調を告げて 底止する處を知らず此際外注に順應するが至當なるべしとのことに意見一致して次の如く決定した。

等邊山形鋼 53 圓 50 錢 不等邊山形鋼 54 圓 50 錢。
2、締切日、14 日。3、其他條件。

イ、7mm 90mm 90mm を指定寸法として取扱ふことに決定した。ロ、定尺切揃えの申込は各寸法別たること。ハ、隨時賣數量は各社の 毎月申込得べき數量を超過することを得ず、

9th December. 1931

Quotation for Small Angles Jan./Feb. delivery
Equal Angle
(50mm×50—100mm×100mm) Cif Yokohama price.

	\$ 16.60
	\$ 49.3/8 ¥ 33.62
Int. & charges	1.90
Duty	18.63

54.15 per ton of 1,016 kgs.
¥ 53.30 per ton of 1,000 kgs.

Unequal Angles

(75mm×100mm)
(75mm×125mm)
(90mm×125mm)

Cif. Yokohama price.

	\$ 17.10
	\$ 49.3/8 ¥ 34.63
Int & charges	1.90
Duty	18.63

¥ 55.16 per ton of 1,016 kgs.
¥ 54.29 per ton of 1,000 kgs.

11月中三港輸入鋼材—減少 月々の若干の増減で一喜一憂するの愚な話であるが、斯る不況時には少しでも減つたとすると好い感じを持ちたがるのは人情で 11 月が先月の 19,000 噸に比し 4,000 噸許り減じたとなると何が減つたか見たくなる。

丸鋼は 400 噸以上も増した、主なる原因は太丸である之れには色々な事情もある様であるが、中には 3/8" や 1/2" 甚だしいのは數量は僅かではあるがベース物に於て市場向品の輸入品のあるのに至つてはどうしても其動機を見出すのに困難をする。

平や角は特殊物が多いから見逃す、型物は 11 月は復影が薄くなつた、板では 0.7 mm 以下が保税の稅濟輸入が大部あるとかあつたとか噂に聞いて居たが實際は聲程の事は無い様である、薄板の輸入に就ては時々製鐵所の輸入數量表は全部でなくて、脱けたものもあると思ふ、實際はもつと輸入して居るなどと云ふ事を聞くが此表の數量には自信あるものであるから、疑問の點があつたら、直接、問合はせられたい、但しこれには保税の數量は含んで居らぬが、稅濟したものは一切含んで居ることを併せて承知願ひたい。兎に角これが約 1,000 噸減少した。

次に鉄力が 2,500 噸計りの減少を見た。

線材も 1,000 噸の減少である、これも噂では大部入る様に云はれて居たが絶對數としては過重とは思はれぬが現今の情勢を考慮に入れた相對的のものとしては餘程の重荷かも知れない。

珍らしいのはシートパイピングが 1,000 噸臺に上つた事である、過渡時代としては已むを得ない事かも知れない。こうして數へ上げた結果が 15,000 噸となつたのである。

ブラツセル齋藤囑託通信 12 月 5 日入電 市場の不振は愈々深刻となり不安人氣は益々漲る。相場は一般に 1 志方下落せり。

11 月 12 日發信 (1) ブラツセル市況 市況は不相變無爲閑散にて極度に悲觀人氣に掩はれ僅か支那方面より幾分入注ある位に候 先週來磅相場又々下落を示し一層不安と相成り申候一方近く英國保護關稅の實施を見るべく期待せられ居り候

白耳義内地工場は操短、工場閉鎖等相次ぎ 近くは當地有力なる亞鉛鍍鐵板製造會社は英國同業の競争に堪えず

1 週 2 日の工場閉鎖の止むなきに至りたるが如き又各工場とも職工の解雇續々と實行し居候尙多少 注文を見るものは先物引渡條件皆無にて精々 1 箇月先の Delivery を見るものも稀れに餘程先行を案じ居る不安の空氣 一般に漲り居候今週の建相場は 2,3 週前と殆んど不變にて只其通用貨幣は一定せず次の通り金磅、紙幣磅及白耳義法の 3 様にて云ひ表はし居候

	Export	Inland
Bars	£ 3—0—0(gold) " 3—19—0(paper) Belg. Fr. 515	Belg. Fr. 540
Ang'es heavy	£ 3—0—0(gold) " 3—17—0(paper) B. fr. 520	B. rf. 540
Joist (B. S.)	£ 3—0—0(gold) " 3—17—6(paper) B. fr. 550	B. fr. 555
Plates ($\frac{3}{16}$ " or 5mm)	£ 3—10—0(gold) " 4—12—0(paper) B. fr. 615	B. fr. 660

(2) ジョン、コケリル會社決算報告

白耳義最古最大の鐵工場たる同社(John Cockerill)の發表せし今、昨年同期対照資産負債表次の如し。

Situation on June 30 th 1931—1930

資産の部	1931	1930
不動産總部	fr. 851,170,702	fr. 625,909,437
商品及原料	167,790,280	272,582,478
所有々價證券	90,127,925	95,712,250
借方殘高	130,767,119	332,974,760
現金	684,423	613,222
	fr. 1,240,540,449	fr. 1,327,792,147
負債の部		
資本金	fr. 177,520,900	fr. 166,250,000
積立金	545,208,222	515,935,822
社債	220,068,065	203,470,523
貸方殘高	232,440,957	370,816,180
利益金	15,302,305	17,319,622
	fr. 1,240,540,449	fr. 1,327,792,147

今年度は無配當(昨年度は 1 株 78 法配當)

(3) ラ、プロウイダス鐵工場 前記ジョン、コケリル及ウグレー、マリエーと共に白耳義三大鐵工場の一なる同會社は先般本年度(1930—31 年)度決算報告を發表せしが今年度は 1 株につき 350 法の配當を分配することに決し候

本年度支拂勞銀總額は 96,524,713 法(前年度 100,328,137 法)に達し銑鐵生産高 95 萬 9,000 噸(前年 100 萬 7,000 噸)鋼塊 87 萬 5,000 噸(前年 94 萬 4,000 噸)にて候

11 月 13 日發信 歐洲殊に佛國鋼材産額と價額との比較及勞銀と生計費との比較 佛國ロングウイー 製鋼會社の調査によれば戦前、一昨年及本年の各國産鋼高(鋼塊として)を 100 分率を以て表はせば

	1913 年	1929 年	1931 年 (6 月現在)
佛 蘭 西	100	138	116
白 耳 義 (ル クセムブルグ)	100	186	135
獨 逸	100	135	75
英 國	100	124	66
米 國	100	178	100

以上の如くにして一昨年に比しては本年は 佛蘭西 83% 白耳義「ルクセムブルグ」73% 獨逸 56% 英國 54% 米國 56% を示し如何に英獨兩國の鐵鋼界不振なるかを物語り佛白兩國の比較的痛手少きかを示し居候

又鋼材市價の推移を示せばロングウイー製工形鋼輸出向 eif Antwerp につき茲 2 箇年の値下りは 38% 内地向相場 18% 棒鋼及型钢輸出内地向を通じて 47% 厚板輸出向 37% 内地向 16% を示し申候

次に勞働賃銀の推移を見るに佛國に於ては未だ今回の不況以來一回の値下をも見ざるは生計費の減少を見ざるが爲に外ならず候今一昨年及本年(3 月現在)の各國生計費指數を比較せんに

	獨 逸	英 國	白耳義
1929 年平均	154	154	136
1931 年 3 月	130	120	114

の如く漸落せるに拘らず佛國の状態は 反對に騰貴を示し

1929 年平均 124 1930 年 3 月 131

の如くなる故獨英白等の職工は平均 1 割の勞銀引下を餘儀なくせられたるに拘らず(失業者は別として)一昨年に比し聊かも生計を脅されることなく反之佛國にては勞銀居坐りに拘らず却て生計は苦しき次第なるが尙食料品の實際につき白佛兩國の小賣價段を比較せんに(佛法建キロにつき)

	パン	ラード	豚脂	砂糖	コーヒー
佛	2:30	10:00	9:00	4:25	15:40
白	1:05	7:00	5:60	2:60	6:50

以上の如く白佛物價は非常の差あり 4 人家内 一家族生計指數は佛國 20:60 に對し白耳義は 14:95 を示し其差實に 2 割 7 分に及ぶ殊に食料品の基礎たるパンの價格の佛國內に於て高きは一に農民保護の精神に基く佛國小麥關稅の然らしむる處にして昨今中々議論有之候本年 6 月兩國小麥市價は 100 キロにつき白耳義 67 法佛國 187 法にして佛國の市價は白國に比し實に 3 倍と相成候又これは歐洲各國を通じての現象なれども政府財政難の爲と一般社會思想發達の爲諸公課及従業員 福利増進施設に對する諸經費益々増大し 従つて各産業共常に生産原價の切下を妨げられ前記ロングウイー製鋼會社の報告によれば諸公課全部は 1925—6 年會計年度に於て 1,200 萬法なりしもの今期即ち 1930—31 年度に於ては實に 2,300 萬法に達し一方職工殊に坑夫に對する 勞働及退職強制保險料負擔

額 500 萬法に達し此等諸公課金の合計は過去 5 箇年間に 1,500 萬法の増額を見製品 1 噸當り 40 法即ち平均製品(輸出向)賣約値段の 1 割に該當せる故當局に對し其過重を訴え國際競争場裡佛國品進出の爲には此等の公課金の輕減は生産費切下の第一歩なることの警告を發したる由に候

今日迄の處にては佛國鐵鋼界は他生産國に比し比較的惠まれ居り産額もさして減退を見ず安價格をも推待し得たるも今後は一般に悲觀人氣漲り居るは内地需要として從來大口なりし鐵道會社は各線ともに成績頗る惡化し新規の材料買入一切見送りとなり鐵道以外の各工業界も漸く不況深酷化し來り生産過剩は到る處に現出し建築界も昨年頗る不振となりたれば元來佛國鐵鋼需要の基調たる内地主、輸出従たる形より今後は一變して各製鋼會社とも輸出方面に全力を盡すに至るべき形勢に見受けられ申候又一方共販組織は益々其の組織機能固めて活動すべきやに囀せられ各種のカルテルは國內的國際的に益々活躍することゝ存せられ申候

11 月 20 日發信 今週は久し振りにて東洋及南米方面よりの多量の入注ありたる由なれども市價は却て弱含みにて先値に比し一金磅安を唱へ居候何分英國の財界目鼻つかざる内は一般に市場は不安人氣漲り染みたるは商談は六ヶしきやに存せられ申候

東西市況一警戒氣分 此處に來ては市場の閑散など問題でなく、商賣より金集め、儲けるより倒されまいと云ふ氣分が横溢して市中到る處金の話である、それに關連して當然起るのが何處が怪しいそだ、此處が臭いなど、囀でそれが爲め、實質以上に怖え切つて買ひに來る處へは賣りたくなし、賣りたい店は買はずと云ふ有様で囀は囀を生み全く立ちすくみの形と云はれて居る、東京でも業界に見切りを付けて足元の明るい内に廢業する者もある程で警戒氣分がみなぎつて居る、こうした氣持は特に東京方面が甚だしいと云はれて居る。

東京市況

丸鋼 6mm の下支へも破れてまだまだ軟調に轉じ 9mm は當所の來春 2 箇月間の製作中止も一向利かず、一杯なら賣ると云ふ弱味である、12mm はメーカーからも弗々と出廻つて一時の元氣はなくベースに至つては不相變ヂリ食の一途を辿り此處へ來て金融難等も搦まつて甚だしいのになると 40 何圓で出來ると云ふ噂さへ流布されて居る程の軟弱振りである、之に反し中丸以上は品薄に小堅く保合つて 70mm や 75mm は前旬來の強調を續けて居る。

角、平鋼 角平は格別變つた事もなく消化の數量も尠

いので眼中に置かれて居ない。

型鋼 小型は $\frac{1}{8}$ 厚が 6 圓 70 錢から 7 圓丁度、 $\frac{1}{8}$ 厚は 1 $\frac{1}{2}$ が 7 圓其他 6 圓あたりを彷徨する程の落調であるが、中型は鋼管からの出廻り途絶えて市中に枯涸した爲め一路躍進し、65mm など 5 圓 50 錢以上を稱へて居る者さへある程である、大型等山は可もなく不可もない程度、不等邊は $\frac{1}{4} \times 2 \times 3$ 、 $\frac{1}{4} \times 2\frac{1}{2} \times 3$ 、 $\frac{3}{8} \times 3 \times 3\frac{1}{2}$ 、など 6 圓 30 錢と堅調を示して居るが大體からは大した期待も懸けられては居ない模様である、溝形は未だ未だ好調を續け $\frac{1}{2} \times 3 \times 6$ など 7 圓 5、70 錢と随分永い生命を保つて居る其他今旬目星しいものは $\frac{3}{8} \times 3 \times 6$ 、 $\frac{3}{8} \times 3\frac{1}{2} \times 12$ などである、工形も追々と消化されては居るが目立つ程の事はなく例の通り凡調を傳へられて居る。

鋼板 1.6mm は 11 月に東京だけで 170 餘噸の外注品の入荷を見て落調の追手に帆を懸けた様になり 2.2 は消費數量が少いと云ふので手當薄だつた爲め今は比較的好調である 3.2、4.5 の下押しは改まらず 6.0mm 以上は品不足の爲め高値保合を續けて居る。

大阪市況

丸鋼 右を見れば金融逼迫だと云ふ、然るに左を見れば金融緩和だと云ふ。とも角楯の一面のみを見るものは事を誤るとは誰しも心得てゐることだが、さてこのごろのやうに黒と白と表裏全く相反した楯が方々にて振廻はされるのでは相手に廻つたものは見當がつかねるのも無理はない。ところで昨今の鋼材市場も見方が色々あるやうである。即ち各種の生産、販賣の統制宜敷を得ば市況も好轉するであろうと見る筋もあり又一方では刻々傳はる本國安の報に全く悲觀する向もある。いづれにしても市中は早くも年末氣分横溢しており且つ地方筋は金融難から事業を縮少するのやむなき有様にて従つてこの方面よりの需要擡頭せず各手持筋は異口同音愚痴をこぼしてゐる。ベースものは目先好轉の兆も見えずジリ貧歩調を辿つてゐる。中丸は手當薄にて相場は 6 圓 1、30 錢と辛ふじて採算點を維持してゐる 太丸は最近外注品の入荷弗々あるも順次消化されて先づ無難か。

瘤癢よ小言よ金よ年の暮

角、平鋼 角鋼は最近市場入荷ありたるも荷動き弗々あり 6 圓搦みに取引されてゐる。平鋼 $\frac{1}{8}$ 、 $\frac{3}{8}$ は昨今伸鐵方面よりの荷廻順調にて市中在庫豊富にて賣行も唯小口當用買のみにて氣配は軟弱。

型鋼 小型山形鋼は伸鐵ものに押されて伸びず。中山形は市場品薄なるも某社の有するストックが氣にかゝると云はれてゐる。6×50 は極度の品枯れにて堅調を保つてゐる。大型アングルは荷動き皆無と云はれてゐる。

溝形鋼は品薄にて中でも 3×6 は 7 圓と目立つてゐる。工形鋼は當所發生品にて間に合せ一級品は動かさず打撃を受けてゐる。

鋼板 1、2 中板は外注品及び國產品共在庫潤澤に加へて本國安とあつて氣迷ひ商狀を呈し相場は總崩れの態である。これに反して厚板は極端なる品薄にて殊に 6mm 等は異常な活況を呈してゐる。

線材 目下製品界の不振に加へて共販加盟社中某社がダンピングしてゐるとの報に問屋筋では神経を尖らせ従つて活氣薄の商況を呈してゐる。

鐵力板 賣行不振の處へ又も英國 I、C、W、が 10 圓見當にて賣買されてゐるとの事にて従つて市中相場は混沌としてゐる。

訂正通知 前旬報東京大阪市中相場中線材の東京 68.00 となり居るは 65.00 の誤植につき訂正す。

販賣旬報 第 183 號 昭和 6 年 12 月 22 日 製鐵所販賣部

昭和 6 年の回顧

1、大藏省令第三十六號

金貨幣又ハ金地金ヲ輸出セムトスル者ハ大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ違反スル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

地金トシテ販賣シ又ハ使用スル目的ヲ以テ金貨幣ヲ蒐集、鑄潰又ハ毀傷シタル者ノ罪亦前項ニ同シ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年十二月十三日

大藏大臣 高橋 是清

12 月も半に近き 13 日犬養内閣が突如として出現すると共に電光石火發せられた以上に掲げた 1 片の省令は日本の經濟界を全然顛轉せしめ、新東は一躍 60 圓高の 200 圓を振つて 3 日間取引市場を閉鎖せしめ、昨日まで 49 弗 $\frac{3}{8}$ の無風状態だつた對米爲替は一舉に暴落して一時は 39 弗の呼びさへ現はれ、3 志の對英爲替は 2 志近くまで追ひ込まれる亂調子となり、爲に鋼材の如きは單なる爲替關係のみにて 2 割以上の奔騰となつた、それが爲め 14、15 兩日の當所販賣部の如きは、全く外套や帽子の置場さへ無い程東西買手の殺到を見て、此處にも聊か逆上氣味の現象を見た。

「咽喉もと過ぐれば暑さを忘る」で此煙幕の爲め生死の境を彷徨した程の昭和 6 年の苦難も兎角忘れ勝ちとなり易いが將來の参考に、經て來た途の概要を摘録して多難

なりし昭和 6 年を送る言葉に代へたい。

2、昭和 6 年に於ける一般經濟界の事象で我鐵鋼界に最も影響を及ぼしたものは漠然たる世界的不況と云ふ猛烈な鈍壓は第一に數ふべきものであるが、其外突發事件としては 9 月 21 日に於ける英國の金本位制停止を擧げなければならぬ、之れにより停止直前迄 2 志 $\frac{3}{8}$ を保つた對英爲替は奔騰に次くは奔騰を以てし 12 月 8 日頃は 3 志 $\frac{3}{4}$ さへ稱へらるゝに至つて鋼材値段を甚だしき低落に導き永い間の磅建値は終に弗建値に讓らなければならぬ様になり、特に英國に於て多量の生産をなす黑板と鐵力板は甚だしい打撃を蒙るに至つた。

次は 12 月 13 日の日本の輸出再禁止でこれは全然前者と正反對の現象となつて爲替の暴落により 14、15 日の如きは奈落より九天に抛り擧げられた感を抱くに至つた。

又今一つ忘れてはならぬ此政變や金輸出禁止によつて忘れ勝ちではあるが 12 月 9 日入電の獨逸の經濟國家管理案である、ドサクサまぎれによつて其影響も未だ判然とはしないが若し之が相當力強く實施せらるゝことゝなれば鋼材界にも可なりの暗影を投げるものと想像せられる。

3、過去 3 箇年に亘る世界的不況は本年に入ると共に深刻の度は益々尖鋭化して 6 月に入つては獨逸は經濟的危機に瀕したる爲め遂にフーヴァー大統領の提唱による 1 箇年戰債モラトリアムを實施せざるべからざる状態となり、引き続き前掲の如く英國の危態を誘致するに至る等大陸方面は殆んど混亂に近き状態となる一方流石の常春の國と云はれた米國も大陸の影響と總ての商品の需給の調節の破綻によりスチール株が 30 弗臺と云ふ未曾有の安値を出現する程の不況に見舞はるゝに至つた、従つて鋼材相場の如きは前年に引き続き低落 1 月の棒鋼ベース 5-6-0 は 10 月には 3-18-6 となつた近來の高値であつた昭和 4 年 2 月の 7-12-6 に比すれば實に 4 磅に近い下落となつたので如何に深刻な不況であるか此一事でも明瞭である。

續つて本年に於ける日本國內の一般市況はと云へば 1 月から 2、3 箇月間一寸丸鋼の手持薄により稍小康を保つたかに見えたのが異例で消費の減退と海外の低落に遇つては如何とも策の施し様もなく、統制機關も輸入減も殆ど積極的の効果を擧ぐる餘地なく 12 月まで低落の一途を辿るの已むを得ざる状態となり、此暮は東西共可なりの痛手を蒙る者あるべき噂さへ出たが 13 日に於ける政變に幸されホット一息の形となつた。然し此處で考へなければならぬ事は今回の反撥は決して需要の増加によ

る自力的景氣ではない事である、單に値段の居所が異つただけである寧ろ高値の出現は需要の減退を誘ひはせまいかと云ふ懸念さへ湧き、従つて此際の餓狼の如き買氣は將來の禍根となるのではあるまいかとさへ思はれる。

4、供給状態を見るに先づ輸入に於ては 11 月末累計の神戸、大阪、横濱三港の總輸入額は昭和 5 年の 305,806 吨に比し 6 年は 160,449 吨即ち約 145,000 吨の減少で殆んど半減である、其原因は不況も勿論影響を及ぼしたるがそれよりも國內の生産が之に代つたと見るが至當ではあるまいか、それが證左には販賣旬報第 171 號の「上半期鋼材の供給」を見れば分る通り内地生産は輸入程減少して居ない即ち其 100 分率表に現はれた如く、昭和 6 年上半年を基準とすれば昭和 6 年上半年の輸入は 22.9 に減じたに反し内地生産は 82.5% を保持して居ることに依つても明らかに證明されると思ふ。

5、本年に於ける特筆すべき事柄の第一は統制機關の完成である、販賣旬報第 158 號の附録に掲げた如く昭和 6 年 3 月 20 日に於ける中型山形鋼共販組合の成立を最後として主要鋼材を網羅した 7 個の販賣統制機關の完成を告げた。「鐵鋼界の苦境」はあらゆる情實や主張を鎖磨、協調せしめて此大業を完成せしむる主要な役割を演じたのである、出来てしまへば其效果に就てはあまり氣にもしない様であるが、翻つて共販成立前に於ける厚板や山形鋼の状態を振り返り眺めて、若し共販成立せざりし事を想像すれば、思ふても膚に泡を生ずるものがある、之れを思へば統制機關の完成は我鐵鋼界の救世主と云ふても過言ではあるまい。

次に劃期的のものは、製鐵所のシートパイリングの完成と中山薄鐵板工場の鉞力板の進出である。シートパイリングは永い間外國品の蹂躪に委して、如何とも爲すこと能はざりしものであつたが、製鐵所技術者の苦心慘憺たる努力により世界の驚異とまで謳はれた程の短日月に於て此難事業の完成を見て 4、5 月以降華々しく市場に進出した事である。之れによつてシートパイリングの輸入は俄然とし其影を潜めてしまつた。

鉞力板は其製作の困難等に原因して今迄は民間に於て殆んど之に手を觸るゝものなく只前年横濱に於て僅かに之が製造をなしつゝあつたが遂に消滅の悲運に接して居た處今回中山薄鐵板工場では多大の犠牲を忍び之が製造に着手し 10 月頃より僅少な數量ではあるが、之を市場に供給する様になつた、之は鉞力板を民間にて製造する魁とも稱すべきもので、近く實現する當所の増産と相俟ち他の鋼材同様外國品は其跡を絶つに至るであらう

猶近來川崎造船所製鐵工場で珪素鋼板の製造を開始し

たとの事であるが直接聞知しないので其永續性等に就ては分明せぬが噂の通りとすれば之れも民間に於ける最初の試みである。

6、本年に於て残念な事が一つある。それは鋼材輸出の中絶である、鐵鋼の獨立、自給自足には其に弾力性を附與する意味に於ける市場の獲得は絶対に必要なものである。それが爲め製鐵所に於ては昭和 5 年頃より支那方面の市場の開拓に志し本年に入りて漸く其基礎も確立し、非常なる犠牲を拂つて益々之が擴張に志し販賣部に於ても輸出統計の製作まで着手して居たが、底止する處を知らぬ價格の低落は遂に之を一時斷念するの已むを得ざる状態に迄至らしめたのである。

一度失つた市場を再び我物とする爲めには 2 倍 3 倍の努力を必要とすることは周知の事實である。切角此處迄築き上げた我市場を今日失ふ事は今迄の犠牲を水泡に歸せしむる許りでなく我鐵鋼界の獨立の爲に一大痛恨事と云はなければならぬ。

7、昭和 6 年も斯く餘す處旬日を以て去らんとして居る、此處苦闘に疲れながらも或は統制に或は新種の創造に各最善の努力を拂つて進歩の道程を辿らんとして居るのに此處に取り残された一團がある、それは「問屋」である、四圍の變化、進歩に超然として舊習を墨守し何等改善進歩の跡も見られない、日一日と己が市場を他に侵蝕されながら只罵る以外他に對策なく、各擠排して自滅の一途を辿るのみ。歳末の好刺戟を轉機として奮發一番思ひ切つて溝を飛び越えて昭和 7 年に於て新天地を開拓すべきものではあるまいか。

8、之を要するには昭和 6 年の我鐵鋼界は徹頭徹尾苦惱に終止しドンドンを彷徨して將に斷末魔を思はせる迄に事態は窮迫したのである、然るに最後の瞬間に至つて突如として強烈なる刺戟に遇ひ、冒頭に書いた様な逆上状態まで出現した。然し靜かに胸に手を置いて熟慮すれば、其處には考慮すべき數多の問題を残されて居る様に感ぜらる。此降つて湧いた様な景氣は將して春草が雪の間に姿を現はした様な自然の力強い刺戟によつて發生したのか、或は瞬時に消え去る夕立の様に萎えた草木に一時的の更生を與へても復た赫々たる太陽の威烈が總ての物を焼き盡す事を如何ともし難いものか之を思へば慌てゝ飛び付く程の事ではあるまい。

然し單なる夕立だからと云ふても必ずしも悲觀するには當るまい、兎に角一時的にもせよ慈雨に恵まれたのであるから昭和 7 年に於て之を活用するか死用するかによつて總ての運命は決せられると思はれる。

三エス會一据置 月日場所 12 月 10 日 製鐵所東

京出張所 出席者 三井、三菱、日立、高島屋、製鐵所
 主なる議事 1、自昭和7年1月至3月賣出に關する件 外注値段としては F. O. B. は前回と大なる變化は認められざるも C. I. F. は對英爲替の激變により別項の如く甚だしき値下りを見せ、又來春以降の發注豫想、數量を聞き集めたる處によれば 豫想以上の需要の減退により相當手持もあり 傍々先行不安も手傳ひ甚だしく僅少の數量に留まる等總ての情勢混沌たる折柄なれば 徒に値段を動かすことも一考を要するを以て 不取敢値段を据置きとして暫く大勢の趨く處を靜觀することに決定した。
 外注値段次の如し

914'' (0.35mm) 3' x 6'

	Jos Sankey England			American makers		
	STALLOY	LOHYS	APOLLO SPECIAL	ALLEGHENY TRANS SPECIAL	ARMCO TRANS #2	
Cif Yokohama	£ 27-12-6	£ 21-12-6	\$ 142.50	\$ 141.25	\$ 143.26	
Exch-@3/0(¥0.0278)	¥ 184.31	¥ 144.28@49-3/8	¥ 288.51	¥ 286.08	¥ 290.15	
Marine Insurance	—	—	—	—	—	
Draft Interest 1.3%	2.40	1.88	3.75	3.72	3.77	
Import Dnty	5.09	5.09	5.09	5.09	5.09	
Landing Charges	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	
Per ton of 2,240 lbs	193.30	152.75	298.95	296.39	300.51	
Del. Yokohama						
per 1,000 kg.	190.30	150.38	294.30	291.94	295.90	

從つて輸入値段にも大なる變化ありて 其賣出値段に就ては此處暫く一定の値段を決定し難きを以て之に對應する爲め次記の如く標準値段を定め安定するまでの一時的對策を講ずることとせり

次記 昭和6年12月17日 條鋼類一般賣標準値段改正通知 製鐵所一般賣標準値段次の如く定め本日より實施す。尙ほ今後少くとも一週一回以上輸入値段及び爲替相場を參酌の上以上標準値段を裁定發表することとせり。

角、平 大型山形 工形 溝鋼、耗物 同時物
 60圓(1) 同 同 同 68圓

昭和6年12月17日
 軌條類一般賣標準値段改正通知
 軌條類の一般賣標準値段次の如く定め本日より實施することとせり

重軌條	20哩以下	1 噸	98 圓	7 圓上げ
	超 20哩	〃	97 圓	〃
輕軌條	10哩以下	〃	80 圓	10 圓上げ
	超 10哩	〃	78 圓	〃

三軌會一据置 月日場所 12月11日 製鐵所

東京出張所 出席者 三井、三菱、製鐵
 議事 自昭和7年1月至3月重軌條價格の件

昨10日夜以來の政變氣構へにより本日の如きは銀行は爲替の値段の發表もなく先行に就ても今日の處全然豫測を許さざるを以て、此際値段を變更するは妥當を缺く故一應据置きとなし來春勿々改めて臨時三軌會を開催することに決定せり。

20哩以下1噸に付金91圓替、超20哩〃金90圓替 外注値段次の如し

I. R. M. A. base 値段

I.R.M. A. base price	
fob Continental	£ 5-17-6
Ex. \$ 4.866 (U.K.—U.S.)	\$ 28.59
Ex. \$ 49.3/8 (U.S.—Japan)	¥ 57.94
Freight 30/0d	
Insurance 0/6	
30/6b Ex. 2/10 3/8	10.65
	¥ 58.59
interest	1.20
Duty	16.09
Landing charges	1.00
Per 2,240 lbs	86.88
Per 1,000 kgs	85.50

條鋼及軌條標準値段 現今の如く爲替の變動常なく

厚板共販理事會一隨時引合 2萬3,000 噸

月日場所 12月15日 製鐵所東京出張所 出席者 川崎、淺野、東海、製鐵 主なる議題

1、隨時申込と建値變更の件 11日に初まつた政變は、遂に金輸出再禁止となりて爲替の暴落により一舉に輸入値段を引き上げた爲注文の殺到を見て別表の通り22,300噸の隨時引合となりたるを以て、15日臨時理事會を開催し之が對策を凝議した。

然し一般の狀態は此度は好い意味で混沌として歸趨を知らざるを以て斯る際に値段等を決定するは穩當を缺く故一應落付くまで靜觀することとした。

隨時申込數量 (t)

耳付 13,000 切板 3,550 定尺 5,750 計 22,300

中型山形1月積締切一申込1割増 月日場所 1月15日 製鐵所東京出張所 出席者 日本鋼管、東海、製鐵 主なる議題

1月積締切の件

中型山形定期契約の1月分は15日に締切つたが現今の狀態から1割増を利用するは當然の歸結で結局別表の

定期契約 1 月積申込高

(責任數量) 申込者 + 10 % 差支なし	三菱 (4,800) 噸	岩井 (250) 噸	安宅 (150) 噸	岸本 (100) 噸	岡谷 (550) 噸	伊藤(信) (100) 噸	伊藤(宗) (50) 噸	總計 (6,000) 噸
京濱揚	2,120	41	—	94	440	110	55	2,860
{ 等邊	330	—	—	16	60	—	—	406
{ 不等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
阪神揚	2,212	—	—	—	95	—	—	2,307
{ 等邊	373	—	165	—	10	—	—	548
{ 不等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
伊勢揚	225	—	—	—	—	—	—	225
{ 等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
{ 不等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
關門揚	20	50	—	—	—	—	—	70
{ 等邊	—	184	—	—	—	—	—	184
{ 不等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	4,577	91	—	94	535	110	55	5,462
{ 等邊	703	184	165	16	70	—	—	1,138
{ 不等邊	5,280	275	165	110	605	110	55	6,600

通り 6,600 噸とカツチリ 1 割増となり、また之を全部引受けた

1、2 月積線材理事會—8 圓上げ 月日場所 12 月 18 日大阪中央電氣俱樂部 出席者 神戸製鋼、製鐵及五社側 主なる議事 昭和 7 年 1、2 月積賣出しの件

金輸出再禁止後第 1 回の賣出にて久し振りに活況を呈せり。劈頭 5 社側の提示せる條件として外注値段は別記の通り 25 弗 50 仙にて爲替を 42 弗として換算すれば 72 圓 62 錢となるも爲替相場は先行は全く豫測を許さず一方實需はざるのみならず當月物は 不需求期に直面せる關係もあり一氣の棒上げは 相當困難と思はるゝに付き是等を考慮に入れ前月の 8 圓高にて賣出發表せられたしとの要望あり。依て直ちに理事會に移り 5 社の希望値段に就ては爲替の變動を考慮するすれば 是れ以上の上値發表は外注を誘發するの因を作ることゝなるも 此の程度の値段なれば相當の餘裕も存ざるを以て 結局買手要望値段通りとし次記條件にて賣出すことに決定せり。

賣出條件 (イ)數量 9,000 噸、製鐵 4,800 噸、神戸 4,200 噸 但し申込の成績を看たる上多少顧慮すること。

(ロ)値段 製鐵所製品 71 圓 50 錢 (8 圓上げ)
神戸製鋼製品 71 圓 (")

(ハ)締切 19 日 正午中 午後割當發表

外注値段

C. I. F.	\$	25.50	per ton Eng
Exch. \$ 42	¥	60.71	
Interest. 1.4%		.85	
Charge		1.30	
Duty 18%		10.29	
	¥	73.78	
	¥	72.62	per 1,000 kgs

ブラツセル齋藤囑託通信 12 月 19 日 入電

市場は不變、閉歇のまま閉場した。年末迫りし爲め商談なし。

11 月 27 日 發信 今週に入りてより磅相場の暴落、

英國保護關稅實施、佛國製品格安 offer 等弱氣材料に満ち且支那よりの入注も一段落を告げ (英國關稅引上見越輸入と共に) 市場は又もや氣迷人氣にて商談更になく相場は漸落を見申候

12 月 4 日發信 最近の磅相場は又々暴落英國非常關稅の實施等の惡材料の爲めと各國のメーカーあせり氣味の offbs 殺到の爲人氣極度に悪化し目先は全く暗黒と云ふ悲觀人氣に掩はれ居候相場は多くノミナルに候へ共 1—2 志安を唱へ今週の見當相場次の通りに御座候

	Exports	Inland
Bars	£ 2—15—0	fr. 530
Angles	2—15—0	530
" Hev.	2—16—0	540
Joist B. S.	2—16—0	540
Plates	3— 8—0	630

國際鋼塊カルテルは暫定的に本年一杯現狀にて繼續を決議致居候へ共其後始めて本日當地にて委員會の顔合せを行ひ候 目下白耳義鐵鋼業従業者數 16 萬 3,600 名にして悉く失業保險に加入し居候目下失業者數の全體 2 萬 1,400 名各 1 部失業者 3 萬 3,800 名と申居候

東西市況—狂奔—沈靜 古い諺ではあるが人間萬事塞翁が馬、12 月 10 日の夕方まで誰れか翌日の波瀾を豫想し得たろう。

明暗は一夜にして變轉した。金輸出再禁止が發表せられたのが丁度日曜であつた爲め休んだ店と休まぬ店があつて月曜は全く混亂状態となつて 賣買共一寸手が出ず氣配許りは鰻昇りに昇つたが、相場は俟々で火曜に移り水曜となつた頃には 30 弗臺を豫想して居た對米爲替も 40 弗臺は駭りと保つて居ることも分り、末恐ろしいと云ふことにも氣が付き初めて、ソロソロと冷靜に歸つて賣氣分旺盛となり相場も漸次引緩みを見せ 茲許日和見の體と云はれて居る、只だ今まで温めて居た實需筋が 此處へ來て慌てゝ買付いて來たものもあるが、それも永續きはしまいと見られて居る。然し先行は兎もあれこの爲め何處

も此處もホット一息ついたと云ふことは争はれないと云はれて居る。

東西の相場表を見ても 5 圓臺が姿を消して 7 圓臺が頭を出して居るのが此變化を明瞭に物語る材料である。

東京市況

丸鋼 6mm は外注の餘地が若干残されて居る爲めと品切りに騰勢も鮮かであつた、9mm は高値は 6 圓 50 錢位まで呼ばれたが一寸小甘くなり、12mm も 6 圓 40 錢まで硬化したが今は此邊で賣りたい氣分となつて居る、ベース丸は新聞で發表された關東鋼材の 2 割増産の噂や 1、2 月渡が 55 圓と云ふ案外の安値と云ふことが利いて腰折れとなり軟風が吹いて居る、それも一時は 6 圓 30 錢位までは賣れたと云はれて居る、中丸以上高値のまゝ小駱り 70mm 75mm は 6 圓 80 錢を稱へて居る。

角、平鋼 相場だけは上げることは上げたが例の通り賣れ足の鈍いことに變りなく殆んど存在を忘れられた儘推移して居る。

型鋼 中型は未だ極度の品薄を續けて居る爲め相對的に賣行がよい様に感じて相場も益々強調を傳へて居る、今の處鋼材中の出色なものに數へられて居る、大型山形其儘不動、不等山は出足が遠い爲め伸力鈍く溝形は手持薄に好調を續け特に $\frac{3}{8} \times 3 \times 6$ は一時 8 圓 4、60 錢を唱へられた程である之に反し 2×4 は入荷の報に軟調を告げて居る。工形も高値となつたと云ふだけで賣行一向捗々しからず。

鋼板 14、15 日頃は 1'6、2'3 は 9 圓揚み 3'2 は 8 圓まで昂騰したが其後引き緩みとなり只 1'6 が未だ買氣の餘地を残して居るのが目星しだけで中板は大體峙と見られて居る、6'0mm は品掠れの爲め硬調を改めず、9'0mm 以上は高値となつたが荷動き少ないと云はれて居る。

大阪市況

丸鋼 圓は下る、下る一物價は騰る、騰る一金輸出禁止直後の昨今とて圓價は釣瓶落しとなり、早くもこの變動が我鋼材の上に現れはじめた。市中品薄と相俟つて先高を見越して賣手なく従つて買手は思惑も手傳つて餘計にあせり氣味といはれ相場も混沌として見當がつかぬ。とも角この再禁止の注射による鐵鋼界のみならず一般財界の活氣がいつまで續くか、そして爲替相場の低落がどこまで行くかは分らぬが、この際注射の興奮による思惑買は丁度根のない浮草の花のようなものであるから來るべき注射後に於ける反動的倦怠期のことをも考慮せねばなるまいと云はれて居る。細丸は内地メーカーの製造寸法以外のもの即ち外注品は一齊に 1 割方の暴騰を演

じ中丸は總じて 50 錢揚みの引締りを見せてゐるが之に對して實需伴はざるため不訝。太丸はジリ高歩調にあり尙四圍の環境から目先幾分期待すべきものがある。

風邪の神漢醫か處方笑ひけり

角、平鋼 角鋼は市中在庫薄にて相場も比較的カツチリしてゐるが荷動きは捗々しからず。平鋼は當所品の出廻不順調にて市中品掠れと云はれ氣配も相當駱りの様子である $\frac{1}{2}$ 厚外注品等は 6 圓 30 錢より一躍 7 圓カツチリにて取引されてゐる。

型鋼 等邊小型山形鋼は市中品豊富ならざるため先づ無難に推移するであらう。中型山形は既報の如く某社の手持品の動き方如何によつて市況は左右されるであらうといはれてゐるが中山は元來用途が廣い關係から目先さして悲觀もないであらうと見られてゐる。6×50 は品皆無とあつて 6 圓 7、80 錢見當である。溝形鋼は中山形に續いて弗々荷動きあるも爲替の變動を眺めて茲許賣氣分濃厚と云はれてゐる。工形鋼は最近建築方面の需要なく従つて現在以上の反撥は先づないであらうと見られてゐる。

鋼板 薄板は從來黑板共販組合の賣出しに對し買手は買控への態であつたため目下手當薄の所へ例の金の禁輸のため一時に狂奔し且つ昨今支那方面よりの引合弗々あり異常な活況を呈してゐる。1'6 品薄に加へて地方筋よりの需要擡頭と相まつて氣配は駱りを示し 2 中板も相當な躍進振りである。厚板はこれまで高値を維持してゐた關係から茲許強含み保合。

線材 金輸出禁止發表により俄然反騰し買手一時に殺到すれ共賣手なく従つて相場も判然としない様子であるが相場は大體別表に示す位の處で落付くであらうと見られてゐる。

鋸力板 各問屋筋共當所先物賣出しに對して從來通りの見送りを續けてゐたが例の金禁輸のため相場は急騰し今更ら乍らあいた口が塞らぬと云はれてゐる。

線材、薄板、鋳力板輸入速報

品名	12月上旬				12月中旬				12月下旬			
	神戸 自11月28日 至12月8日	大阪 " " " "	横濱 自11月28日 至12月7日	合計	神戸 自12月9日 至12月18日	大阪 " " " "	横濱 自12月8日 至12月17日	合計	神戸 自 月 日	大阪 " " " "	横濱 自 月 日	合計
B.W.G.No.5	499	203	1,152	1,854	403	504	133	1,040				
線材 其他	474	5	216	695	563	—	62	625				
線材 計	973	208	1,368	2,549	966	504	195	1,665				
上中下計	—	—	—	—	1,939	712	1,563	4,214				
薄板 0.7mm以下	228	285	198	711	860	692	177	1,729				
旬計	—	—	—	—	1,088	977	375	2,440				
鋳力板	214	21	761	999	336	20	762	1,118				
上中下旬計	—	—	—	—	550	44	1,523	2,117				

東京大阪市中相場 (單位圓)

寸法	12月上旬		12月中旬		12月下旬	
	東京 12月 8日	大阪 12月 5日	東京 12月 17日	大阪 12月 15日	東京 月 日	大阪 月 日
丸鋼						
6mm	6.90	7.10	7.80	7.40		
9	5.75	5.95	6.40	6.40		
12	"	5.90	6.30	6.35		
19	5.55	5.85	6.20	6.30		
25	"	"	"	"		
50	5.80	6.50	6.60	6.80		
65	6.00	6.20	"	6.80		
角鋼						
9mm	6.30	6.10	6.80	6.60		
12	5.80	6.00	6.50	6.40		
15	5.70	5.80	6.40	6.40		
19	"	6.00	6.30	6.50		
38	"	6.20	"	7.00		
平鋼						
1/4" x 1 1/2"	5.55	5.85	6.30	6.40		
1/4" x 2	"	"	6.20	6.50		
1/4" x 3	5.70	6.20	"	"		
3/8" x 4	"	6.10	6.50	"		
1/2" x 4	"	6.20	"	"		
等邊山形鋼						
mm mm mm						
6x50x50	6.10	6.20	7.00	6.70		
6x65x65	6.35	6.10	"	6.50		
9x75x75	6.20	"	"	"		
9x130x130	6.10	6.20	6.40	6.70		
12x130x130	6.20	"	6.50	"		
15x150x150	"	"	"	"		
不等邊山形鋼						
3/8" x 2" x 3"	6.10	6.20	6.50	6.80		
3/8" x 3 x 4	6.00	"	"	"		
3/8" x 3 1/2 x 5	5.90	6.10	6.40	6.50		
3/8" x 4 x 6	6.10	6.20	6.50	"		
1/2" x 4 x 6	6.20	"	"	"		

寸法	12月上旬		12月中旬		12月下旬	
	東京 12月 8日	大阪 12月 5日	東京 12月 17日	大阪 12月 15日	東京 月 日	大阪 月 日
溝形鋼						
1/4" x 2' x 4'	6.55	6.50	7.00	6.80		
0.312 x 2 1/2 x 5	6.60	6.80	7.10	7.30		
3/8" x 3 x 6	7.30	7.00	7.70	"		
3/8" x 3 x 8	6.30	6.40	7.10	6.80		
3/8" x 3 1/2 x 10	6.80	6.80	7.20	7.50		
3/8" x 3 1/2 x 12	7.00	"	7.30	"		
工形鋼						
1/4" x 3" x 6"	6.00	6.20	6.50	6.50		
3/8" x 6 x 12	6.30	"	6.60	"		
0.28 x 4 x 8	6.10	"	6.70	6.60		
0.35 x 5 x 12	6.20	6.80	"	7.50		
0.36 x 5 x 10	"	6.90	"	7.70		
鋼板						
1.6mm x 3' x 6'	8.00	8.00	8.90	8.90		
1.6 x 4 x 8	"	7.90	9.00	"		
3.2 x 4 x 8	6.95	6.90	7.80	7.60		
3.2 x 5 x 10	"	"	"	7.70		
6.0 x 4 x 8	7.20	6.85	7.70	7.30		
6.0 x 5 x 10	7.10	"	7.60	"		
9.0 x 4 x 8	6.80	6.70	7.50	7.20		
9.0 x 5 x 10	6.70	"	"	"		
薄鋼板(13枚)						
米	43	40	50	50		
英	41	39	49	49		
八幡	41.5	39	49.5	49		
鋳力板						
米	{170lbs 15.30	15.00	16.30	15.00		
	{100 8.50	8.00	9.00	8.80		
英	{170 13.50	12.70	14.50	14.20		
	{100 7.50	7.00	8.00	8.00		
八幡	{170 13.50	13.50	14.50	14.20		
	{100 7.50	7.20	8.00	8.00		
線材						
No. 5	65.00	62.00	73.00	73.00		

備考 單位 100kg につき(置場値段)、但し薄板は 1枚當り。線材は 1噸當り。鋳力板は 1箱當り。

昭和6年10月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累 計
條及竿鐵 (丸、角、平形にして、 徑又は幅 15mm を超えざるもの)	8	40	472	105	76	16	55	3	—	—	4	779	6,715
〃 (丸、角、平の もの其他)	125	24	1,137	298	126	96	23	—	—	—	2	1,831	11,157
〃 (テ ー 形 及 ア ン ゲ ル 形)	33	—	345	16	—	—	—	2	—	—	—	396	1,838
〃 (其 他)	—	1	1,351	—	—	—	—	20	—	—	1	1,373	12,317
レ — ル	—	—	158	—	—	—	—	786	—	—	—	944	4,792
フィッシュ、プレート	—	—	2	—	—	—	—	86	—	—	—	88	278
ワイヤード (巻きたるものに 径 5mm を超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	103
〃 (巻きたる もの其他)	50	1,265	2,208	554	—	—	146	1,181	—	—	—	5,404	55,454
鐵板 (金屬を鍍せざるものに して厚 0.7mm を超え ざる建築鋼板)	77	—	146	—	—	—	—	167	—	—	—	390	2,078
〃 (金屬を鍍せざるものに して厚 0.7mm を超え ざる其他)	2,367	—	416	1	1	—	—	19	—	—	—	2,804	13,149
〃 (金屬を鍍せざるものに して厚 3mm を超えざ るもの)	18	—	170	104	6	—	12	28	—	—	—	338	3,828
〃 (金屬を鍍せざ るもの其他)	—	33	79	165	2	—	2	—	—	—	—	281	3,820
〃 (錫鍍したるもの (葉鐵及葉鋼))	2,813	—	1,156	—	—	38	—	2,218	4	—	50	6,279	40,260
〃 (亞鉛鍍したるもの)	1	—	35	—	—	—	—	—	—	—	31	67	985
〃 (其他卑金屬を 鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	145
鐵線	31	—	1,101	17	—	—	17	73	—	—	—	1,239	6,949
リード・ワイヤー	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	9
鐵リボン	116	141	232	32	20	—	26	6	—	—	22	595	4,565
帶 (箍鐵)	342	1,564	946	1,022	—	—	—	61	6	—	95	4,036	29,385
パラゴン・ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	132
線 索	33	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	35	323
擦合線	—	—	—	—	—	—	—	9	—	—	—	9	43
バーブド・ツウイス ト・ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵筒及管	14	1	139	—	—	—	1	491	—	—	—	645	8,396
特殊鋼(稅表一)	12	5	68	—	43	—	3	1	4	—	21	157	1,287
〃 (稅表二)	1	—	12	—	44	—	—	—	—	—	—	57	1,250
鐵道車輛用軸	—	—	—	—	—	—	—	37	—	—	4	41	149
鐵道車輛用タイヤ	—	—	72	—	—	—	—	—	—	—	—	72	345
鐵道車輛用 ス プ リ ン グ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	6,041	3,074	10,245	2,314	318	150	285	5,190	14	—	230	27,861	209,752
フェロ・マンガニース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	916
フェロシロン及シリコ ンスピーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51
其他の不可 鍛成鐵合金	30	—	22	—	—	—	11	—	—	—	31	94	272
シートバー (ティンバーを含む)	—	—	2,647	15	—	—	—	—	—	—	—	2,698	18,200
インゴット・ブルーム・ ピレット及スラップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,268
ケツグスチール及 パンプスチール	—	—	3	—	—	—	36	—	—	—	—	39	218
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
合 計	30	—	2,672	51	—	—	47	—	—	—	34	2,834	20,936
銑屑及故鐵	30	—	—	—	—	—	—	102	12,032	8,844	9,060	30,068	308,663
	10,942	—	—	1,507	—	4,268	—	2,528	791	8,698	6,875	35,609	229,331

昭和6年11月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸法		噸數		寸法		噸數		寸法		噸數		寸法		噸數	
棒鋼の部		造船材料		六角鋼		鋼板の部		鉄力板		鋼管の部					
丸	鋼	5/8"	29	計	19	鋼板(0.7mm 超)	lbs	100	108	鋼管					
		3/4"	42	八角鋼		1/16"	127	170	605	3/8"	6				
		7/8"	51	計	10	3/32"	10	Sheets	50	3	3/4"	101			
		1"	5	其他の棒鋼		1/8"	121	70	14	1	186				
		1 1/8"	2	計	6	1/2"	15	80	4	1 1/2"	13				
		計	129	丸鋼計	1,282	1 1/2"	13	90	2	1 3/4"	4				
		丸鋼計	1,282	角	鋼	1.5mm	30	100	8	2	27				
		3/16"	3	3/16"	14	1"	20	Mixed	53	2 1/2"	14				
		1/4"	3	1/4"	10	型鋼の部		Oil size	1,322	3	18				
		1/2"	83	5/16"	11	等邊山形鋼		others	1,129	3 3/4"	10				
		3/8"	16	3/8"	71	1"	20	計	3,248	3 1/2"	19				
		1/2"	20	7/16"	19	計	20	鋼板計	5,979	6 1/2"	16				
		3/4"	54	1/2"	26	造船材料		軌		8	26				
		7/8"	38	5/8"	19	90mm	2	條		10	12				
		1"	72	3/4"	18	100	2	lbs	50	342	149				
		1 1/8"	21	7/8"	11	計	4	100	149	Pipe	11				
		1 1/4"	59	1"	11	等邊山形鋼	24	120	617	fitting	24				
		1 3/8"	1	1 1/8"	9	工形鋼		其他	13	鋼管計	489				
		1 1/2"	20	1 1/4"	17	3" x 3"	8	計	829	其他鋼材の部					
		1 5/8"	49	1 3/4"	10	8 x 5	35	繼目板		特殊鋼					
		1 5/8"	2	2"	13	10 x 5	37	lbs用	2	丸鋼	169				
		1 3/4"	24	2 1/2"	9	10 x 6	25	12	2	鋼鋼	17				
		2"	37	3"	10	12 x 5	40	100	13	平鋼	55				
		2 1/8"	10	3 1/2"	6	15 x 5 1/2"	35	120	11	其他	45				
		2 1/4"	37	計	326	計	180	計	26	其他鋼材計	290				
		2 3/8"	10	丁形鋼		丁形鋼		計	855	鋼材總計	15,438				
		2 1/2"	39	1 1/2" x 1 1/2"	5	1 1/2" x 1 1/2"	5	軌附計	855	線材の部					
		2 5/8"	67	2 x 2	15	2 1/2" x 2 1/2"	11	線材		シ					
		2 3/4"	17	3 x 3	25	3 x 3	25	4mm	153	ー					
		3"	35	3 1/2 x 3 1/2"	10	4 x 4	35	5	441	ト					
		3 1/4"	6	計	101	計	101	7	51	ー					
		3 1/2"	18	造船材料		mm mm		B.W.G.No.		ロ					
		計	326	平	鋼	200 x 100	4	6	432	ム					
		3 3/4"	2	0 34"	1	計	4	5	2,809	其他					
		4"	9	3/8"	7	丁形鋼	105	計	1,997	ケ					
		4 1/4"	16	1/2"	37	シートパイリンク		電氣鐵板		ッ					
		4 1/2"	49	5/8"	36	計	1.025	0.014"	121	グ					
		4 3/4"	8	3/4"	83	計	1.025	0.018"	10	ス					
		5"	24	7/8"	77	計	1.025	0.035mm	52	チ					
		5 1/4"	10	1"	78	計	1.025	0.5	91	ール					
		5 1/2"	12	1 1/4"	13	計	1.025	其他	1						
		6"	12	1 1/2"	14	計	1.025	其他	1						
		6 1/4"	9	1 3/4"	13	計	1.025								
		6 1/2"	11	2"	35	計	1.025								
		7"	16	2 1/4"	2	計	1.025								
		7 1/2"	11	2 1/2"	26	計	1.025								
		8"	11	2 3/4"	1	計	1.025								
		0.5825"	1	3"	30	計	1.025								
		0.645	1	3 1/2"	12	計	1.025								
		0.77	1	3 3/8"	10	計	1.025								
		4.8mm	1	4"	8	計	1.025								
		5.2	3	4 1/2"	2	計	1.025								
		6"	30	5"	17	計	1.025								
		6.4	3	5 1/2"	1	計	1.025								
		28"	1	6"	42	計	1.025								
計	1,153	計	572	計	1,334	計	3,549	計	275	計	4,276	計	15,438		

昭和6年11月當所製品揚地別發送高

(單位噸)

揚地別	品名 區分	鋼材			鋼片 及 鋼塊	副製品	合計	揚地別	品名 區分	鋼材			鋼片 及 鋼塊	副製品	合計
		官廳	民間	計						官廳	民間	計			
內地							內地								
當所	渡	107	3,167	3,274	6,856	23,780	33,910	朝鮮地方	658	9	667	—	—	667	
京濱	地方	4,812	17,169	21,981	363	169	22,513	臺灣地方	24	256	280	—	—	280	
阪神	地方	5,469	13,419	18,888	4,023	23	22,934	其他	—	—	—	—	—	—	
伊勢	地方	15	1,589	1,604	—	15	1,619	計	12,823	36,628	49,451	13,344	26,841	89,636	
東海	地方	15	1,589	1,604	—	15	1,619	輸出	—	—	—	—	—	—	
山陰	地方	16	200	216	—	—	216	滿洲地方	—	681	681	—	—	681	
北陸	地方	16	200	216	—	—	216	關東地方	—	230	230	—	—	230	
内海	地方	494	—	494	726	1,478	2,698	其他	—	—	—	—	—	—	
岸四	地方	—	211	211	—	—	211	計	—	911	911	—	—	911	
奥羽	地方	—	211	211	—	—	211	合計	12,823	37,539	50,362	13,344	26,841	90,547	
關門	地方	1,198	522	1,720	1,376	1,376	4,472								
九州	地方	—	—	—	—	—	—								
北海道	地方	30	86	116	—	—	116								
樺太	地方	—	—	—	—	—	—								

昭和6年11月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品種	區分	神戸	大阪	横濱	11月計	前月計	本年累計	前年 同期累計
平	鋼	160	154	15	329	122	1,456	2,169
等	鋼	240	20	310	570	578	4,870	9,088
	山	24	—	—	24	95	439	7,993
不溝	等	—	—	—	—	4	230	4,859
工	山	—	—	—	—	25	438	4,542
鋼	形	180	—	—	180	60	1,743	8,699
	板(0.7mm超)	107	34	319	460	562	5,796	36,451
	〃(0.7mm以下)	401	877	721	1,999	2,835	17,191	28,048
	力	687	486	2,077	3,250	5,718	37,580	48,892
	條	50	13	766	829	817	4,349	9,400
	材	2,425	455	1,396	4,276	5,232	55,198	58,091
	シ-トパイリン	37	988	—	1,025	425	7,249	25,746
	鋼管	136	20	335	491	568	8,155	23,274
	其他	348	30	357	735	1,403	7,168	19,955
	計	5,583	3,449	6,419	15,451	19,302	160,449	305,806
硫石	炭	18,975	—	12,735	31,710	14,298	134,550	
ナ	フリ	—	5	—	5	5	106	
ク	ソ	25	10	—	35	125	2,205	
	ール	51	—	10	61	15	554	